

## 平成27年度現地検討会実施状況（森林計画）

分野	検討会名	開催月日	主催・共催	開催地	出席者	目的	内容	写真	
希少種	複層伐・溪畔・希少種森林施業の取扱い等の研修会	5月22日	留萌南部森林管理署	小平町（国有林） 留萌市（国有林）	国有林	20名	森林の多面的機能が発揮される森林施業に関する知識の習得を図るため、多様な森林への誘導方法、生物多様性の保全、環境に配慮した森林施業等に関する研修の実施	複層伐の伐区設定方法の考え方や溪畔周辺の取扱いに係る溪畔の範囲、濁水防止対策、希少動植物生息生育情報の把握等について検討を行い、活発な意見交換を行った。	
					民有林	名			
					事業者	名			
					研究機関	名			
					その他	名			
					合計	20名			
現地での意見交換									
天然更新	トドマツ人工林更新樹発生状況調査現地検討会	7月14日	北海道森林管理局 計画課 十勝西部森林管理署	大樹町（国有林）	国有林	24名	天然更新技術の適用可能な林分条件と適用可能性の高い地域を把握するため、道内の国有林においてトドマツ人工林内における天然更新樹の発生状況調査に関する現地検討の実施	簡易調査法・詳細調査法の実技、データ取りまとめの手法について検討を行った。 調査データ（調査箇所）を保存し、今後の林分経年変化や成長を追跡可能にすることを全体で確認した。	
					民有林	名			
					事業者	名			
					研究機関	名			
					その他	名			
					合計	24名			
調査方法の説明									
天然更新	トドマツ天然更新木の情報発信意見交換会	8月25日	日高振興局森林室 日高南部森林管理署	えりも町（道有林）	国有林	5名	地域の課題である更新施業の低コスト化を解決するため、試験研究機関と連携したトドマツ人工林内の天然更新の成績調査などトドマツ天然更新に関する新たな施業技術に関する意見交換の実施	民有林では「トドマツ人工林に天然更新している稚樹は皆伐したら育つか？」と題しての試験報告等を、国有林では天然更新している人工林の調査手法等の事例報告を行い、現地では、稚樹を残して伐木造材する方法や、光環境の変化による成長想定などの意見交換を実施し、今後さらに検討を進めることとなった。	
					民有林	23名			
					事業者	13名			
					研究機関	1名			
					その他	名			
					合計	42名			
更新地での意見交換（道有林）									
森林施業	天Ⅰ更新箇所における施業現地検討会	9月11日	日高北部森林管理署	日高町(国有林)	国有林	9名	過酷な環境である亜高山帯の森林を適切に管理していくため、亜高山帯の育成天然林で実施可能な施業技術に関する現地検討の実施	過酷な環境下にある亜高山帯では、凍害や寒風害等の気象害を懸念して一部施業を行ってこなかったが、近年上層木が下層木の生長を阻害している状況にあり、このままでは健全な森林の育成に影響が出ると考え、今後の施業方法について、森林総合研究所の研究者からの技術的助言をいただき意見交換を実施した。 意見交換では「上層木や形質不良木を伐採し、植栽木と天然木の配置バランスを調整することにより、林分の光環境を整える必要がある」「標高1,000m以上では、ダケカンバ主体の広葉樹林分となっており、このような林分では伐採は行わない」など活発な意見があり、一つの方法として「天然林受光伐」を検討することとし、更なる検証を行うこととした。	
					民有林	名			
					事業者	名			
					研究機関	1名			
					その他	名			
					合計	10名			
亜高山帯施業の説明									

分野	検討会名	開催月日	主催・共催	開催地	出席者	目的	内容	写真	
希少種	シマフクロウ生息地拡大取り組みフォローアップ	10月19日～20日	北海道森林管理局 計画課	希少種生息地情報のため、実施署、開催地等は非公開	国有林	28 名	希少種であるシマフクロウの生息地拡大に向けた環境整備のため、環境整備を実施した箇所において実施状況等の検証などに関するフォローアップの実施	平成26年度に現地検討会を実施し、シマフクロウの餌となる底生魚類の遡上改善を目的とした林道コルゲート管の段差解消や湧水地を利用した採餌池の作設等、生息地周辺の森林整備等を行った箇所において、整備内容に関するモニタリングを行った結果、一定の成果が確認出来たことから、現地において、有識者を招き意見交換を行った。 また、会場を移し有識者であるシマフクロウ環境研究会 代表竹中健氏より「シマフクロウの現状と問題点」等について、講演いただきその後意見交換を行い、今後のシマフクロウ生息環境整備と森林整備との調整等について、検討することができた。	
					民有林	名			
					事業体	名			
					研究機関	1 名			
					その他	名			
					合計	29 名			
底生魚類の遡上改善について検討									
天然更新	平成27年度森林計画樹立に伴う現地意見交換会	11月5日	北海道森林管理局 計画課 上川南部森林管理署	南富良野町(国有林)	国有林	69 名	主伐量の増加による更新面積の増加に対応するため、地がきによる天然更新や低密度植栽を採用することによる造林コストの低減に関する現地意見交換の実施	実証試験地において、地がき実行プロット(天然更新を期待)、低密度植栽プロット(カラマツ本750/ha、カラマツ1,500本/ha植栽)、異樹種植栽プロット(カラマツ林にトドマツの植栽)、地がきプロット(全刈・筋刈・無処理)など各プロットの現況や設定のポイントなどを説明し意見交換を行った。 侵入した広葉樹の取り扱い、間伐回数減による収穫量の減少の懸念など意見があり、今後の事業化に向けて、具体的な方向性を検討することができた。	
					民有林	名			
					事業体	名			
					研究機関	2 名			
					その他	名			
					合計	71 名			
現地説明及び意見交換									
協定・施業団地	森林整備推進協定の締結に向けた先進地視察	12月2日	渡島森林管理署	寿都町(国有林)	国有林	9 名	木材の安定供給を図るため、森林整備推進協定の締結を目指して民国連携した路網や森林の整備に関する意見交換の実施	道南地域においても、利用可能な人工林資源がトドマツを中心に充実しつつあり、今後、木質バイオマス発電施設への原料の供給など地域資源の安定供給が重要となっている。 そこで、八雲町及び長万部町等と森林整備推進協定を締結するため、先進地である後志署管内の寿都町において「寿都地域森林整備推進協定」について学習し、林業専用道新設箇所において現地検討会を実施して、民有林、国有林各々のメリット等の意見交換を実施した。	
					民有林	5 名			
					事業体	名			
					研究機関	名			
					その他	名			
					合計	14 名			
意見交換の様子									
森林施業	置戸照査法試験林における現地検討会	1月15日	網走中部森林管理署	置戸町(道有林)	国有林	21 名	国有林職員の知識・技術の向上のため、置戸町道有林試験林において天然林の施業方法等に関する現地検討の実施	照査法試験林として日本で最も古い「置戸照査法試験林」において、伐採を実施している現地を見ながら、オホーツク総合振興局東部森林室より試験林について説明を受け、調査方法や伐採の考え方、今後の取り扱いなどについて、意見交換を行い森林施業技術の向上につなげた。	
					民有林	4 名			
					事業体	名			
					研究機関	名			
					その他	名			
					合計	25 名			
東部森林室より説明を受け意見交換									